

認知行動療法による薬物依存治療 プログラムを用いた薬物再乱用 防止教室の実施について

沖縄県保健医療部
薬務疾病対策課

事前準備

- 薬物再乱用防止講習会検討会議を開催
(参加者)
 - ・総合精神保健福祉センター担当者
 - ・沖縄ダルク
 - ・琉球ガイア
 - ・国立病院機構 琉球病院 医師
 - ・沖縄県薬物乱用防止協会(指導員が所属)

沖縄県における再乱用防止教室

- 初期の乱用者を対象とする。
- 沖縄県薬物乱用防止協会に委託する。
- T-DARPPを用いる。
- 講師は沖縄ダルク及び琉球ガイアから派遣。
- 毎週土曜日10時～11時半。
- 教室開催周知については、説明会や通知を2度行ったあとは、薬物関連相談窓口担当者意見交換会やセンターが主催するアディクション会議、HP等、様々な場で随時案内。

SMARPP、TAMARPP及び T-DARPPとは

- **【SMARPP】**
Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program
国立精神・神経医療研究センターの松本俊彦先生が研究代表者として開発された、認知行動療法による薬物依存症治療プログラム。
- **【TAMARPP】**
TAMA mental health and welfare center Relapse Prevention Program
SMARPPを参考として開発された、公的機関で提供できる簡便で構造化されたプログラム。

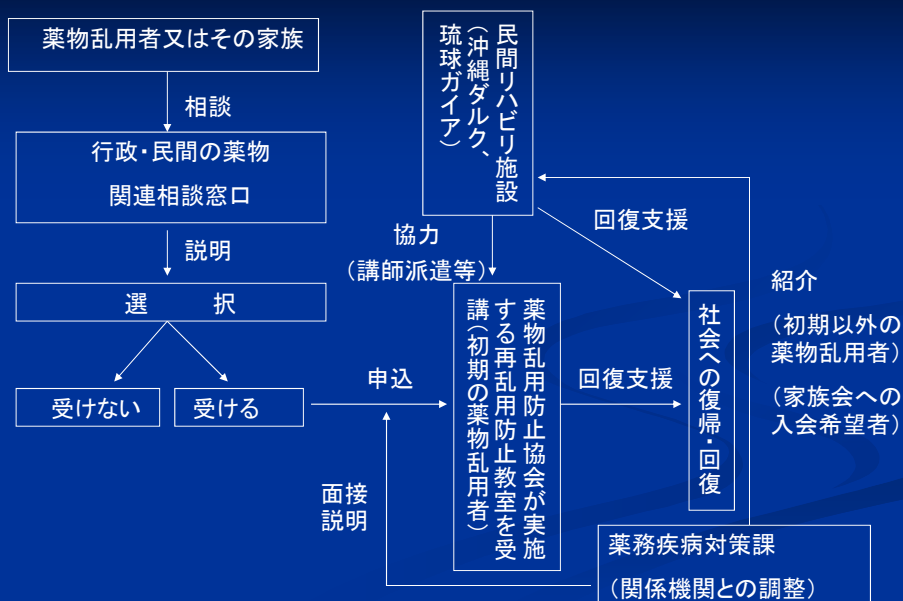
SMARPP、TAMARPP及び T-DARPPとは

■ 【T-DARPP】

Tochigi-Darc Addiction Relapse Prevention Program

TAMARPPのワークブックをベースにSMARPPの覚醒剤、麻薬に関する内容等を加え、1クール10回に再編したプログラム。

薬物再乱用防止教室



薬物再乱用防止教室



修了証交付式



薬物再乱用防止教室実施状況

	第1ターム (H26.1.25～ H26.7.5)	第2ターム (H26.10.4～ H27.3.14)	平成27年度 第1ターム (H27.4.18～ H27.9.26予定)	平成27年度 第2ターム (H27.10.17～ H28.3.12予定)
回数	22回 (10回×2、補 講2)	20回 (10回×2)	20回予定 (10回×2)	20回予定 (10回×2)
参加者 (うち一般)	10名 (3名)	19名 (1名)	9名 (2名)※	—
修了者 (うち一般)	7名 (1名)	16名 (1名)	2名 (0名)※	—
修了率 (うち一般)	70% (33.3%)	84% (100%)	—	—
講師	琉球ガイア	沖縄ダルク	琉球ガイア	沖縄ダルク

※H27.8現在

教室開催にあたっての問題点

- 教室への参加者が少ない
 - ・症状が重篤
 - ・教室会場までの交通手段がない
- 教室会場の確保
 - ・1クール分一度に確保ができないため、日によって場所が異なる

ご静聴ありがとうございました